

とちがはら 栃ヶ原ダム&市野新田ダム 施設見学会を実施

柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課、市野新田支所

平成28年10月10日(月)に、柏崎周辺国営土地改良事業推進協議会(会長:柏崎市長)が企画した「栃ヶ原ダム&市野新田ダム施設見学会」が開催されました。

このイベントは、近年、ダムカードの発行を契機として、全国各地でダムが注目される中、柏崎市にも建設中のダムを含めて8つものダムがあることから、一般の方へダムの役割などの理解を深めていただくことを目的として、柏崎市が管理者となり供用されている「栃ヶ原ダム」と、現在建設中の「市野新田ダム」の見学会を柏崎市が企画したものです。

イベントの開催に当たり、柏崎市のホームページ等で参加者を募集したところ、定員40名に対して、111名の応募があり、抽選で選ばれた41名が参加しました(当選は43名でしたが、2名欠席)。

当日は、快晴とはならなかったものの、雨が降ることもなく、ほどよい見学会日和となりました。

9:00までに出発地である柏崎市役所で受付を済ませ、参加者はバスに乗り込み、まずは栃ヶ原ダムを目指しました。道中、事業所職員による柏崎周辺農業水利事業の概要、栃ヶ原ダムの概要を説明した後、ダムクイズなどで盛り上がりながら、あっという間に、栃ヶ原ダム放流棟前に到着。

普段は一般の人が立ち入ることのできない監査廊を公開。放流棟入口から進入し、堤体天端まで約40mの高さを、階段で駆け登りました。参加者は、子供からお年寄りまで幅広い年齢層でしたが、ほとんどの方が元気よく階段を登っていきました。

堤体天端に到着した後は、堤長約150mの天端を歩き、堤体や周辺の景色を眺めて頂きました。

堤体を眺めていた参加者に話を聞いてみたところ、「柏崎市に長いこと住んでいるが、ダムの存在や役割など、全く知らなかった。今回参加して、ダムの必要性が理解でき、立派な施設が身近にあると感じることができた。」と、嬉しい声を聞くことができました。

一行は栃ヶ原ダムに別れを告げた後、「市野新田ダム」を目指しました。

栃ヶ原ダム&市野新田ダム 施設見学会 参加者募集!

平成28年10月10日(月)祝日 9:00~14:00
募集人数/40名(応募者多数の場合は抽選)
参加費/1,000円(小学生以下500円、未就学児無料)
昼食/蘭川の「そば」と「天ぷら」
行程/柏崎市役所9:00⇒栃ヶ原ダム9:55⇒市野新田ダム11:20
⇒蘭川休憩の里「ほたる」で昼食12:00⇒柏崎市役所14:00
※マイクロバスで移動。途中じよんのびの里でトイレ休憩。
※参加費(昼食代、保険料込み)は当日徴収します。

ダム内帯の一帯を緑化計画!このチャンスを見逃さない!

バスの中でダムに関するクイズを出題。答えは各町でダムに添えられているよ。

「このダムは、どんな役割があるの?」

「このダムを、建設するのはなぜ?」

建設中の市野新田ダム

お申込み・お問合せ先 9月26日(月)までに、はがきまたはEメールで必要事項をご記入の上お申込みください。お申し込みは1参加者1名につき、1封筒(お名前、住所、電話番号)でお願いします。

募集パンフレット

ヘルメット装着。ダムの中へGO!



近くで見ると こんな感じなんだね。



移動の途中、栃ヶ原ダム近くの交流観光施設「高柳じょんのび村」や、新潟県が治水のために建設した「鯖石川ダム」脇を通過しながら、途中、「市野新田ダム」近くの「鶴川体験の里ほたる」にて、地元の方お手製の手打ちそばと季節の天ぷらで昼食をとりました。あわせて隣接する綾子舞会館を見学し、いざ「市野新田ダム」へ。

市野新田ダムでは、右岸天端にて当事業所の山田市野新田支所長がダムの概要や施工状況についての説明を行い、盛立の施工状況等を見学した後、ダムの上流側に盛り立てるリップラップ材に名前やメッセージを記載してもらいました。

参加者からは「施工中のフィルダムを見学出来る機会はなかなか無いので楽しみにしていた。」といった声や「傾斜遮水ゾーン型のフィルダムは珍しいですね。」といったダムに詳しい方ならではの質問がありました。

本見学会は来年度も開催する予定であり、農業用ダムの必要性を今後も PR していきたいと考えています。



事業所職員によるダムの概要を説明



リップラップに何を書こうかな